


ハーセプチンの治療をお受けになる方へ



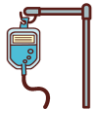
ハーセプチンは、腫瘍化した細胞の表面にある、HER2という目印のあるタンパク質にくっつくように作られた薬です。腫瘍を小さくしたり、広がるのを抑えたり、腫瘍による症状を軽くしたりします。HER2という目印があるものにくっつくので、従来の薬と比べると、正常な細胞への影響は少ないと考えられています。以下に、ハーセプチンによる治療の副作用をご説明しますがこれらの副作用がすべての方に必ず起こるわけではありません。

◎通常スケジュール

薬の名前	1日目	2～21日目
ハーセプチン (成分名:トラスツズマブ)		お休み

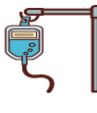
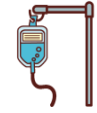
症状や経過に合わせてお休み期間は変わります。

もしくは

薬の名前	1日目	2～28日目
ハーセプチン (成分名:トラスツズマブ)		お休み

症状や経過に合わせてお休み期間は変わります。

一日のスケジュール

	初回:90分 2回目から 45分	生理食塩水250ml ハーセプチン	ハーセプチン;腫瘍の細胞分裂を抑える。
	10分	生理食塩水50ml	生理食塩水; 点滴チューブの洗浄および状態の確認

◎起こりやすい副作用について

●インフュージョンリアクション

発熱、悪寒、吐き気、頭痛、疼痛、痒み、発疹、咳、血圧上昇、気分不快が起こる場合があります。

ほとんどの場合は点滴をしている時間帯におきますので点滴中に気分不快等あれば看護師に相談しましょう。特に初回の点滴時に頻度が多く、発生した場合には点滴速度を遅くした

●ハーセプチンによる心毒性

心臓に対する副作用があり、心臓がドキドキしたり、息苦しくなったり、むくみが出る場合があります。心臓がドキドキしたり、息苦しくなったりしたときは、医療スタッフに連絡しましょう。心臓機能の低下(100人に2~4人くらいといわれています)



これら以外の副作用があらわれる場合もありますので、
気になる症状があらわれた際には必ず医師、薬剤師または
看護師にご相談ください。

担当薬剤師